

令和3年度事業報告について

令和3年度事業報告

1 全体的事項

令和3年度も新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響で、さまざまな自粛が続きました。そのような中でも、ワクチン接種が進んだことや東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など希望を持って前進した1年でもありましたが、新型コロナの変異株が世界中で発生し、国内において9月以降は減少に転じていた新規陽性者数が12月下旬以降に再び増加し、令和4年1月には療養者数と重症者数も急激に増加してしまいました。

政府は、若年層や小児にも感染し、伝播性が強いオミクロン株のリスク感染拡大防止対策として、1月27日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」を講じ、長野県も適用され、県下全ての圏域も感染警戒レベルが6となり、昨年と同様に会員懇談会や様々な事業や行事が中止となってしまいました。

このようなことから、国内の経済社会活動は引き続き抑制を余儀なくされ、事業者や生活者が様々な影響を再び受ける中で、シルバー人材センターの仕事においても大きな影響を受けながら対応をしてきました。

しかしながら、長期的な展望においては、少子高齢化は常に進展し、生産年齢人口が減少する一方で高齢者の増加が一層進んでおり、労働参加率も増加をしています。

平成28年に閣議決定された、10年先を見据えた「ニッポン一億総活躍プラン」では、誰もが活躍できる全員参加型の「一億総活躍社会」の実現を目指しており、特にシルバー人材センターに対しては、就業時間の緩和によって業種及び職種における業務範囲の拡大や県連合会による高齢者活躍人材確保育成事業の展開などによって多様な就業機会の確保と会員拡大への様々な取組が図られました。

高齢化の進行とともに労働力人口が減少する中において、シルバー人材センターには人手不足分野や現役世代を支える分野、行政と連携した地域課題を支える分野などでの役割が求められています。

このような中で、令和3年度上田地域シルバー人材センターは、会員への就業機会の提供、会員拡大、高齢者の社会参加というシルバー人材センター本来の目的のため、

- ① 会員拡大に向けた積極的な広報活動や勧誘活動
- ② 地域住民や関係団体との連携による就業開拓活動や地域の高齢者の手が必要とされる分野の開拓
- ③ シルバー就業の適正就業の徹底と派遣事業への取組強化
- ④ 事故防止策及び安全体制の徹底と会員一人ひとりの安全意識の向上
- ⑤ 信頼されるシルバー人材センターを目指した技能講習や研修活動等の強化

の5項目を基本目標として定め、中期基本計画に盛り込まれた取組に従い事業展開を進めようとしてきましたが、新型コロナの影響を受け計画した様々な事業が実施できない年となりました。

令和3年度の最優先課題として取り組んできました会員拡大については、会員が減少傾向にあるなかで、年度当初の会員数1,935人に対し、年度末の会員は1,929人であり、結果として前年度末実績を下回ることとなりました。会員拡大とともに退会を抑制することも大切であり、退会理由の40%を超える「本人の病気」にならないよう健康推進活動を進め、会員拡大に向けては、今後も継続した会員勧誘活動やシルバー事業への理解、関心を一層高める取組が必要となっています。

受注状況では、公共については、引続き数々のイベント関係が中止となり、仕事が減少しましたが、新型コロナのワクチン接種会場や国勢及び地方選挙の仕事があり、補う形となりました。また、企業活動は少しずつ再開されつつもそれぞれの企業で事業活動に差が出ている状況です。一方、一般家庭については、除草・剪定・伐採作業などの依頼はあるものの、技術を持つ会員が減少しており、手配がつかないなど受注が難しくなってきました。

適正就業の観点から切り替えを進めている派遣事業では、少しずつ景気の回復も見られ、企業等からの新たな受注や請負就業で受注していた大口企業の派遣就業への切り替えを進めながら毎年増加傾向にあり全体としても安定した伸びとなりました。

地域でのシルバー活動の起点となる班会活動については、新型コロナの影響によってできる範囲での活動となりましたが、集まり、活動できることの重要性を会員相互が感じながら一人ひとりの力による、「一人一新規就業開拓」、「一人一会員拡大」に向けた新たな取組を模索する機会となりました。

総務部門をはじめ、就業促進、安全適正就業、広報活動については各専門委員会の活動報告のとおり、コロナ禍の厳しい状況においてもそれぞれの立場で上田地域シルバー人材センターの健全な発展と活性化に努めました。

高齢者の社会参加が地域の課題となっている中で、コロナ禍においても上田地域シルバー人材センター事業に終始ご理解とご支援をいただきました国や県、関係市町村、関係機関、団体及び地域住民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

2 各専門委員会の活動

(1) 総務委員会

令和3年度は、現中期基本計画の最終年度にあたり、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする新中期基本計画を策定するためにこれまでの事業の検証と新たな取組を検討するため、各専門委員会との調整を図りながら取組を進めてきました。

長引くコロナ禍において、活動の制限を余儀なくされてしまいましたが、最大の目標である会員拡大については、昨年度に引き続き、特定費用準備資金を活用した「会員拡大特別対策事業」として、地元メディアをはじめ、タウン情報誌、市町村広報誌

など情報発信を一層充実させてシルバー事業への理解と関心の啓発、会員の勧誘などに前向きに取り組みを進め、シルバー事業への理解と関心を高めることができました。

昨年度、開催することができなかった会員懇談会については、1月に入り新規感染者が急増したため、「まん延防止等重点措置」の適用と県下全域の感染警戒レベルが6となったため、会員の安全、安心、健康を守ることを最優先にすべての地区で中止し、会議資料の配布のみとしました。また、開催を計画していた各種イベントや講習会についても中止としました。

会員懇談会や地区班会、班長会は、地域に根差したシルバー人材センターの根幹的な活動であり、会員相互の情報交換や意見交換の場として重要な取組であるため、新しいスタイルでの開催も検討していく必要があります。

人手不足分野として期待が寄せられている「介護予防・日常生活支援総合事業」についても5年目を迎え、地域に定着した活動になってまいりました。

ア 指定管理施設の運営

上田市から指定管理者として管理運営を受託している2つのマレットゴルフ場については、新型コロナの感染防止対策として9月3日から12日間にわたり、施設が閉鎖されましたが感染予防対策を取りながら概ね良好に運営することができました。

新型コロナの影響で利用者の数は減少したものの、塩田の郷マレットゴルフ場については、11月末の営業終了を12月12日まで延長し、多くの愛好家にご利用いただきました。

また、塩田の郷マレットゴルフ場は、上田市からの指定管理者の指定を受けて15年目、天下山マレットゴルフ場も11年目の施設管理と運営をすることができました。

両施設とも会員はじめ、多くの皆さんのボランティア活動に支えていただき、美しい芝のコース整備と利用者の満足度の向上に努めることができました。

イ 派遣会員の労働衛生への取組

労働安全衛生法に従い、衛生管理規程により衛生委員会の設置と産業医を選任して、毎月衛生委員会を開催し、会員の安全と健康確保対策に取り組んできました。派遣会員は、法律の規則により1年に1回、健康診断をしなければならないことから、市町村が行っている特定健診への受診の呼びかけと義務づけされているストレスチェックを実施しました。

(2) 就業促進委員会

令和3年度は、前年度に引続き新型コロナの影響により例年実施していますイベントでのチラシ配布等の活動が全て中止となり実施することができませんでした。また、各種研修や先進地研修視察なども中止せざるを得ない状況でした。

各種活動が制限されるなかではありましたが、重点取組である会員拡大と就業拡大につきましては、10月のシルバー事業普及啓発促進月間において会員の皆様に「一人

「一会員拡大運動」の一環として「会員紹介キャンペーン」に取り組んでいただきました。また、新聞及び行政の広報誌や各種冊子へのPRチラシの掲載や就業促進委員による企業訪問を実施するとともに、新たな取り組みとして、行政窓口での電子広告による情報発信や就業促進委員による会員募集ポスターの掲示活動等を実施し当センターのPRを行いました。

ア 就業実績

新型コロナの影響により活動が制限され、請負事業と派遣事業を合わせた契約額は令和2年度を下回る実績でした。

請負事業の公共関係については、イベント中止による受注の減少が心配されましたが、新型コロナのワクチン接種関連や衆議院選挙関連の受注により前年度以上の実績を上げることができました。しかしながら、民間企業については適正就業に向けた取り組みによる請負事業から派遣事業への移行や新型コロナの影響があり前年度実績より減少し、一般家庭の実績も新型コロナの影響や剪定、草刈り、草取りなどの外仕事を行う会員の減少による依頼の謝絶等により減少し、年度末実績は948,823千円で前年比97.6%となり、23,604千円の減少でした。発注先別では、実績金額は前年比で公共が104.7%、民間企業が96.2%、一般家庭が92.2%でした。受注件数は18,240件と前年に対し699件の減少でした。

派遣事業については、新型コロナの影響で就業日数が減少した事業所もありましたが、適正就業の取り組みにより派遣事業は実績を伸ばし、年度末実績は136,181千円で前年比115.2%となり17,965千円の増加でした。

請負事業・派遣事業の合計契約金額は、1,085,005千円で前年比99.5%となり5,638千円の減少でした。

イ 会員拡大・就業拡大の取組

新型コロナの影響でイベントが全て中止となり、会場での会員募集・就業拡大のチラシ配布等の活動ができず新会員の加入が大変難しくなっている状況でしたが、行政窓口の電子広告による情報発信、新聞及び行政の広報誌や各種冊子へのPRチラシの掲載、就業促進委員による企業訪問や会員募集ポスターの掲示依頼などにより、公共施設、商店、企業、金融機関、街頭等に掲示され、PRすることができました。また、会員には「会員紹介キャンペーン」に取り組んでいただくとともに、令和2年度から実施している「シルバーポイント制」を活用して「一人一会員拡大運動」・「一人一新規就業開拓運動」に取り組んでいただきました。

入会説明会は、新型コロナの感染防止対策を徹底し、密を避けるために1回の説明会の参加人数を減らし、回数を増やすことや個別対応を行うなどの取り組みによって、新規入会者数は176人と健闘しました。しかしながら、会員の高齢化や病気、家族の介護等による退会者が増加し、総体の会員数は1,929人となり、前年より54人減少しました。

《会員拡大、就業拡大の具体的取組》

【企業訪問・ポスター掲示】

カレンダー配布・企業訪問	273 社
会員募集ポスター掲示枚数	140 枚

【イベント活動状況】

いきいきフェスティバル	丸子・武石地区	中止
巨峰の王国まつり	東御地区	中止
うえだ環境フェア	上田地区	中止
上田地域産業展	全体行事	中止
砥石・米山城まつり	上田第3	中止
青木産業祭	青木・上田第4	中止

【相談会開催】

北御牧公民館サロン市	東御地区	実施
女性班全体集会	全体行事	延期

ウ シルバーポイント制の実施

総会・班会・講習会・ボランティア等の催事への参加や会員拡大・就業拡大への意識の向上を図るべく、令和2年度からポイント制を導入して取り組んできました。

令和3年度は、新規会員の獲得・新規就業先の開拓に力を入れ取り組んでいくことから、多くのポイントを獲得できるようにポイントの上限を18ポイントから40ポイントに引き上げる見直しを行いました。本年度も新型コロナの影響により、講習会・ボランティア等の各種活動が制限され、ポイントを集める機会が減少し、景品の交換は少ない状況でしたが、新規会員の獲得・新規就業先の開拓に積極的に取り組みいただき多くのポイントを獲得された会員もいました。

ポイント制は内容を更に充実させて令和4年度も実施しますので、積極的な取組みをお願いします。

【ポイント付与催事等】

総会へ出席	1ポイント	きずな総会へ出席	1ポイント
安全講習会へ出席	2ポイント	新規会員紹介（1人）	5ポイント
懇談会へ出席	1ポイント	新規就業開拓（1ヶ所）	3ポイント
班会へ出席	2ポイント	夫婦会員（毎年）	2ポイント
ボランティアへ出席	2ポイント	班長（新規就任）	2ポイント

【地区別景品獲得数】

地区	上田・青木 地区	丸子・武石 地区	東御地区	真田地区	長和地区	合計
6ポイントで景品獲得	34	48	29	3	23	137
12ポイントで景品獲得	8	3	8	0	8	27
18ポイントで景品獲得	2	1	3	0	5	11
30ポイントで景品獲得	1	1	1	0	2	5
40ポイントで景品獲得	0	0	1	0	1	2
地区合計	45	53	42	3	39	182

エ 各種講習会の開催

会員等の技能や技術の習得を目的に、県連合会が実施している高齢者活躍人材確保育成事業や当センター独自の講習会については、新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら開催しました。

(ア) 高齢者活躍人材確保育成事業（厚生労働省から県連合会への委託事業）

地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を促進するため、広報活動、就業体験、技能講習などを通じてシルバー人材センターに対する理解を深めてもらう事業を県連合会とともに実施しました。

【技能講習】

講習名	講習期間	講習日数	参加者数
庭木・庭園管理講習	6月14日～18日	5日	15
日常生活支援講習	11月10日～12日	3日	6
2講座 合計			21人

【就業体験】

体験就業名	開催日	参加者数
ブドウ収穫体験	9月16日	12
1事業 合計		12人

(イ) 独自技能講習・レベルアップ講習

剪定技術や駐車場整理など技能の習得に時間のかかるものや国補助事業の対象とならない技能講習を独自講習として実施しています。

【実施内容】

講習名	講習期間	講習日数	参加者数
派遣会員 交通安全講習	4月10日	1日	6
派遣会員 交通安全講習	4月15日	1日	6
派遣会員 安全衛生講習	6月20日	資料配布	155
刃物とぎ講習	11月16日	1日	8
派遣会員 交通安全講習	11月19日	1日	6
運転適性検査	12月10日	1日	17
駐車場整理講習	12月13日	1日	12
派遣会員 安全衛生講習	12月20日	資料配布	159
松剪定講習	3月10日	1日	13
9講座 合計			382人

オ 派遣事業

派遣では一部業種ではありますが、就業時間の緩和の許可により、最長40時間(運用は30時間)までの就業が可能となっています。そのため、製造業などでの長時間就業にも対応でき、企業の要望に応えることができるようになりました。しかし、令和3年度は新型コロナウイルスのワクチン接種は進んだものの新種株の発生により治まりを見せず厳しい状況は現在も続いています。

昨年度末は70事業部所で約147人の就業でしたが、引続き適正就業に取り組み、令和3年度末では、77事業部所で約152人の会員が就業しています。また、就業延人員も昨年度末の19,867人と比較して119.7%となりの23,782人となりました。

カ 介護予防・日常生活支援総合事業

平成28年度から委託事業として取り組んできた介護予防・日常生活支援総合事業については、東御地区では、平成28年度から東御市地域包括介護支援センターの委託事業として、平成29年度には上田市から事業所指定を受けて取り組んでいます。

新型コロナの影響を受け減少となり、上田地域は、令和3年度の訪問件数は271件、受託件数は掃除洗濯、調理など延べ1,162件となっています。就業会員は12人、契約金額は197万円余となりました。

東御地区における令和3年度の実績は、訪問件数153件、就業会員は4人、受注額は25万円余となりました。

キ 観光ガイド事業

観光ガイド班の活動は、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていた4月に6件の受注ガイドがあり、10名が従事しましたが、5月から9月までは感染状況が拡大となり再び活動を休止する事態となりました。

ワクチン接種が始まり、会員の状況が万全となった間は、少人数の個人のお客様や隣県からの修学旅行の学校の受け入れを中心に活動しました。

秋になりワクチン接種・移動距離の制限等の努力により感染レベルも下がり 10 月・11 月の紅葉では多くのお客様をお迎えする事ができました。

また春から延期されていまして 11 名の新人ガイドの会員が上田城のボランティアガイド活動でデビューし 10 日間のボランティアガイド活動で合計 345 人のお客様をおもてなしすることができました。

先の見えないガイド活動の中で希望と自信となり、お客様にも喜んでいただく事ができました。1 日も早い新型コロナウイルスの収束を願い、これからもガイド勉強会等を通じて知識を深めながら観光ガイド利用者へのより一層のサービスの提供に取り組めます。

ク 独自事業

きずな上田支部リフォーム班、丸子支部手芸班、の活動は新型コロナの影響により活動に至りませんでした。東御支部リフォーム班の手づくりマスク、エコバックの販売、JAいずみの里イベントへ参加した刃物研ぎ、わら細工班による注連飾りなどシルバー人材センターとしてできる範囲で独自事業に取り組みました。

《令和 3 年度販売実績》

上田支部リフォーム班	0 千円
丸子支部手芸班	0 千円
東御支部リフォーム班	9 千円
刃物研ぎ（上田地区）	209 千円
わら細工班（真田地区）	4,802 千円

ケ ボランティア活動

各ブロック、支所及び女性班の活動として公共施設の清掃等を実施したほか、上田城跡公園の観光ボランティアガイドも実施しました。

【実施内容】

地区名	月 日	場 所	作業内容	参加者数
上田第 1	—	—	—	
上田第 2	12 月 10 日	上田城跡公園	落葉・ごみ 清掃	42

上田第3	—	—	—	
上田第4	7月31日	青木村役場	除草・草刈	29
青木地区	3月29日	塩田の郷マレットゴルフ場	落葉清掃	54
丸子・武石地区	6月16日	武石ともしび博物館	除草・草刈	17
東御地区	5月10日	東御市北御牧公民館周辺	除草・草刈	5
	6月10日			40
真田地区	—	—	—	
長和地区	6月15日	福井記念公園（長門） 和田宿ステーション付近 （和田）	除草・草刈	27
きずな （上田・青木）	6月24日	上田市指定文化財 倉沢家	除草・草刈	23
観光ガイド班	10月23日 ～11月28日	上田城跡公園	観光案内	20
9回 合計				257人

（3）安全適正就業委員会

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、安全就業・交通安全講習会をはじめ、草刈り講習会、健康講座、新入会員安全講習会は開催を見送りましたが、支所単位では、草刈り講習会などを開催し、技量の向上に努めました。

安全パトロールの実施や石が飛びにくい替刃の幹旋などを進めましたが、飛び石に代表される事故は昨年度を上回ってしまいました。この事態を重く受け止め、一層の安全就業実現に向けて取り組んでいく必要があります。

ア 事故状況・事故防止について

令和3年度の事故件数は、23件に及んでいます。

このうち、賠償が必要な賠償事故が15件、会員が受傷するなどの傷害事故が8件。一時は元年度(31件)と同じ勢いで増加していました。賠償事故のほとんどは草刈りでの飛び石事故であり、不注意や慢心に加え、防護ネット不使用がガラスの破損などの事故につながっています。危険予知を含めたリスク管理の徹底、防護ネットの使用促進などにより、事故防止に努めます。

傷害事故でもリスク管理が重要です。常に安全に気を配り、無理、無茶を避け、気を緩めることなく作業を進めていくことが大切です。

令和3年度に発生した事故の内容は別表のとおりです。個々の事例がみなさんの気づきにつながれば幸いです。

【賠償事故】

就業内容	事故概要	損害状況
草刈り作業	駐車場での石飛により運転席側ガラス破損	ガラス破損
草刈り作業	敷地内に先行配管されていたガス管のキャップ破損	キャップ破損
草刈り作業	屋外アンテナの引き込みコード切断	コード切断
草刈り作業	太陽光パネル下の電源とカメラの配線を切断	配線切断
草刈り作業	依頼場所以外の作業をし、山野草を刈ってしまった	山野草数種類
草刈り作業	飛石により通行車両の助手席側車体を破損	助手席側板金
草刈り作業	草刈かプロアーによってボンネット等が受傷	車体の傷
草刈り作業	草に埋もれていたエアコンの室外機ケーブル切断	ケーブル切断
草刈り作業	飛石により通行車両のフロントガラス破損	ガラス破損
草刈り作業	飛石により向かいの家の車両の後部ガラス破損	ガラス破損
草刈り作業	飛石により駐車中の車の運転席側ガラス破損	ガラス破損
草刈り作業	石垣で作業中、飛石により隣家の車の後部ガラス破損	ガラス破損
草刈り作業	工場敷地内で飛石による後部ガラス破損	ガラス破損
草刈り作業	飛石による隣接保育園の送迎車のリアガラス破損	ガラス破損
型付け作業	脚立を荷台から降ろす際、駐車中の車のガラス破損	ガラス破損

【傷害事故】

工場内軽作業	手袋をせず洗浄用の有機溶剤によって化学熱傷となった	両手指尖部熱傷
草刈り作業	作業中、50cmの溝を飛び越え、アキレスを腱切断した	アキレス腱断裂
施設内清掃	落ちかけた物を拾おうとして左胸部を痛打した	左胸部打撲
シャクヤク芽摘み	帰路、流れ出た水を避けてはみ出し、対向車と衝突した	多発肋骨骨折
棚づくり	表面のヤスリ掛けの最中に棘が深く刺さった	棘刺症
院内清掃	駐車場から現場に向かう途中凍結路面で滑った	腰椎骨折
店内調理	就業先駐車場付近で積雪によって滑って転倒した	腰椎捻挫ほか
まつり準備	ボンボリ設置時、目にプラスチック破片が入った	異物混入

イ 安全パトロールの実施

安全パトロールは支所単位で6月から9月にかけて実施しました。実際に草刈りなどの作業現場のほか、事故発生現場での検証を行いました。

防護ネット使用を促したほか、ヘルメット着用の徹底、車両管理者への連絡の重要性が指摘されたほか、斜面作業時の滑り止め対策が課題に挙げられました。

指摘事項を真摯に受け止め、今後にかかしていきます。

【実施内容】

地 区	個 所	個所の内訳
上田事務所	5 箇所	草刈現場 2、事故検証 3
丸子支所	4 箇所	草刈現場 2、剪定作業 2
東御支所	2 箇所	草刈現場 2
真田支所	4 箇所	草刈現場 4
長和支所	2 箇所	草刈現場 2

ウ 替刃「石飛番（いしとばん）」の斡旋

これまでも飛び石が起きにくい替刃を紹介、販売してきましたが、本年度も同様に「石飛番」の利用をお願いしました。飛び石防止効果では一定の評価があり、切れ味や耐久性でも肯定的な意見が寄せられました。

これまでに紹介し、利用いただいているものに加え、同替刃の利用を促していくとともに、より飛び石が発生しにくいものの選別に力を注いでいきます。

エ 安全標語の募集

「出来るはず 無理と過信が 事故まねく」

安全標語の募集には、36人から68作品の応募がありました。安全適正就業委員会での審査において、中澤芳江さんの作品「出来るはず 無理と過信が 事故まねく」が最優秀賞に選ばれました。

この作品は、県連合会での審査においても785作品の頂点として、最優秀賞に輝きました。

【3年度安全標語表彰作品】

受 賞	氏 名	地 区	作 品
最優秀賞	中澤 芳江	東御	出来るはず 無理と過信が 事故まねく
優秀賞	山田 昌志	上田第1	ひと呼吸 段取り整え 安全作業
佳作	丸山 恵子	真田	シルバーだよ 知恵と笑顔と謙虚さで!!
佳作	窪田 利幸	上田第2	無理しない 声掛け合って 無くす事故
佳作	久保田忠雄	上田第2	慣れを捨て 基本動作で 身を守る
佳作	大久保善司	丸子.武石	慣れた作業も初心から 安全確認 事故は無し

(敬称略)

(4) 広報委員会

会員への情報提供や会員同士の交流を目指して「上田地域シルバーだより」年7回、「お知らせ版」を毎月発行しました。紙面の編集にあたっては、昨年引き続きコロナ禍の為、予定されていた大きな行事が中止となりましたが、感染防止対策を取った上、規模を縮小し、開催された講習会やボランティア活動を取材し、掲載しました。

また、5月に行った「上田地域シルバーだより」に対するアンケートの結果、多く意見が寄せられた職場紹介を8月と12月に掲載し、健康管理については、会員にむけて12月に産業医の先生による「健康アドバイス」の原稿を掲載しました。昨年に引き続き、全面カラー化と大きな文字や写真を多用し、読んでいただきやすい紙面作りに努力しました。

センターの事業内容や活動を中心としてホームページの内容は随時更新するとともに、会員への就業案内メールの登録を入会時にお願いし、登録者数の拡大を図りました。それと併用し、SMS（ショートメールサービス）システムの利用を開始し、緊急連絡など一斉配信しました。

【ホームページアクセス件数】 令和3年度実績

トータルアクセス数	47,351
トップページ	9,047
センターのご紹介	7,498
お仕事をしたい方	6,465
お仕事を頼みたい方	8,644
活動情報	7,595
観光ガイド	4,361
その他（お知らせ一覧等）	3,741

【携帯メールサービス登録会員数】 令和3年度実績

就業案内登録	523 人
情報発信件数	121 件

（5）女性班「きずな」

女性班の名称を「きずな」として10年目を迎えるにあたり、全体集会に於いて記念講演会を計画しました。拡大役員会で企画立案し、3月11日の開催に向けて準備を進めてきた中で、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置のため延期することになってしまいましたが、節目となる記念事業として、感染の状況を判断しながら新年度の早めに実施できるよう取り組んでいきます。

また、女性会員の知識向上の講習会等、親睦交流会等も開催できない状態でしたが、各地区で工夫を凝らしながら、ボランティア活動やフラワーアレンジメント講習会、寄せ植え講習会、わら細工のリース作り講習会などを実施し、女性会員の横の繋がりを強化するように努めるとともに、新年度の活動に繋げていくため会員拡大と就業開拓について検討しました。

(6) 氷見市シルバー人材センターとの交流

姉妹提携を締結している（公社）氷見市シルバー人材センターとは、会員互助会が主体となって、隔年交代で相互に訪問し、双方の事業内容等の研修を通して、交流を深めています。

令和3年度は、コロナ禍であったことから収束までは交流を中止することとなりましたが、再開できることを期待し、互助会だより等を相互交換しながら情報交流を行いました。